

平成24年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

平成24年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成25年6月26日(水)にかごしま空港ホテルにおいて開催された。
この検討会には、試験場関係者21名、委託関係者27名

ほか、計54名の参集を得て、除草剤15薬剤(125点)について、試験成績の報告と検討が行われた。
その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成24年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤		注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す					
薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. BAH-0902 マクロホアセム ベンディメタリン:38.7% [BASFジャパン]	ペレニア ライグラス	作用性 新規	新中国G研	ねらい (1) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 全般(科科を除く) 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 0.8mL <200-300mL> 対) パイワ 水和剤 芝生育期・雑草発生前 0.075g <200-300mL>	処理後120 日～150日 での調査 希望。	実・継	[秋冬作: (コウライバ、ノシバ、パーミュウググラス) 一年生雑草(科科を除く)] ・芝生育期・雑草発生前 ・0.5～0.7mL<200～300mL>/㎡ ・土壌処理 [秋冬作: (クナクキーフルーグラス) 一年生雑草(科科を除く)] ・芝生育期・雑草発生前 ・0.4～0.6mL<200～300mL>/㎡ ・土壌処理
		適用性 新規	札幌国際CC 埼玉スタジアム2002 静岡G場協会	ねらい (3) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 全般(科科を除く) 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 0.6mL <200-300mL> 対) パイワ 水和剤 芝生育期・雑草発生前 0.075g <200-300mL>	処理後120 日～150日 での調査 希望。	継)	・効果・薬害の確認(ペレニアライグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライバ、ノシバ、クナクキーフルーグラス、 パーミュウググラス、ベンディメタリン) ・連用試験での確認 (コウライバ、ノシバ、クナクキーフルーグラス、 パーミュウググラス) ・実証試験での確認 (クナクキーフルーグラス)
	ペレニア ライグラス	倍量薬害 新規	新中国G研	ねらい (1) 対象 雑草 倍量薬害 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200mL> 1.2mL <400mL> 2.4mL <800mL>			
日本芝	実証試験 継続	J福岡	ねらい (1) 対象 雑草 実証試験 一年生科 全般 一年生広葉 全般(科科を除く) 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200-300mL>	処理後120 日～150日 での調査 希望。			

A. 除草剤

(注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
1. BAH-0902 つづき マイクローバセル	パーミュー タグダラス	実証試験 継続	J福岡	(1)	ねらい	実証試験	処理後120 日～150日 での調査 希望。	
					対象 雑草	一年生科 全般 一年生広葉 全般(竹科を除く) 多年生科 - 多年生広葉 - その他 -		
					設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生初期・雑草発生前 0.6mL <200-300mL>		
					ねらい	実証試験	処理後120 日～150日 での調査 希望。	
				(1)	対象 雑草	一年生科 全般 一年生広葉 全般(竹科を除く) 多年生科 - 多年生広葉 - その他 -		
					設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生初期・雑草発生前 0.6mL <200-300mL>		
2. BEH-507 フロアブル インダジファミン19.1% [ハートアップサイエンス]	パーミュー タグダラス	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 静岡G場協会 新中国G研 J福岡	(4)	ねらい	雑草発生前	展着剤不 要。 処理後120 ～150日 での調査希 望。	実・継 実) [秋冬作: (コライシバ、ノハ)、パーミュータグダラス] 一年生雑草 ・芝生初期・雑草発生前 ・0.02～0.03mL<200～300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・効果・薬害の確認(パーミュータグダラス) ・実証試験での確認 (コライシバ、ノハ、パーミュータグダラス) ・適用薬害の確認(パーミュータグダラス) ・緑化木への影響の確認
					対象 雑草	一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 -		
					設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生初期・雑草発生前 0.02mL <200～300mL> 0.025mL <200～300mL> 0.03mL <200～300mL> 対) ハートアップフロアブル 芝生初期・雑草発生前 0.15mL <200～300mL>		
				(2)	ねらい	連用薬害(3回目)		
					対象 雑草	一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 -		
					設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生初期 0.03mL <200～300mL>		
3. FMC-01 顆粒水和 カルフェントラフィンエチル 40.0% [エフエムシーケミカルズ]	バントグ ラス	適用性 新規	静岡G場協会	(1)	ねらい	コケ、単用/反復処理	・効果発現 及び完成 時期の確 認を行う また、効果 の持続期 間について も確認 する(特に 単用処理) ・展着剤を 加用する	実・継 実) [秋冬作: (バントグ)コケ類] ・芝生初期、コケ類生育期 0.03g<100～200mL>/㎡ 茎葉処理(3回) 0.06g<100～200mL>/㎡ 茎葉処理(1～3回) 注)コケ類の再生時に散布する 継) ・0.03g 1回処理の効果・薬害の確認 (バントグ) ・実証試験での確認(バントグ) ・連用薬害の確認(バントグ)
					対象 雑草	一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 コケ類		
					設計 薬量 <水量> /㎡	全面茎葉散布 秋期芝生初期(コケ生育期) 0.03g <100-200mL> 0.06g <100-200mL> 0.03g×3回(10～14日間隔) <100-200mL> 0.06g×3回(10～14日間隔) <100-200mL> 対照 ケミカルDF 秋期芝生初期(コケ生育期) 0.06g <100-200mL>		
4. GG-155 顆粒水和 イマズメフロリン75% [住化グリーン]	ノハ	適用性 継続	東日本G研 西日本G研	(2)	ねらい	雑草発生前	処理後120 日程度ま で行う。	実・継 実) [秋冬作: (コライシバ、ノハ) 一年生広葉雑草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、コケ類生育期 ・0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) [秋冬作: (ノハ)一年生広葉雑草] ・芝生初期・雑草発生前・発生初期 ・0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) [秋冬作: (ノハ)多年生広葉雑草] ・芝生初期・雑草発生初期 ・0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・雑草発生前での多年生広葉雑草への効 果の確認(ノハ) ・倍量薬害試験での確認(コライシバ、ノハ) ・連用試験での確認(コライシバ、ノハ) ・実証試験での確認(コライシバ、ノハ) ・緑化木への影響の確認
					対象 雑草	一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 全般 その他 -		
					設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生初期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) イブ-6DF 芝生初期 雑草発生前 0.03g <200-300mL>		

A. 除草剤

(注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・ 新・ 別の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい 試験設計等	備考	判定	判定内容
5. HAT-211 液 アゾホスホ:0.1% MCPP-K:0.2% [保土谷アグロテック]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 雑草生育期 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理(希釈せずそのまま散布) 芝生育期、雑草生育期(草丈10cm以下) 100mL 150mL 200mL 参) シンチア AL剤 100mL<希釈せずそのまま散布>	処理後45 ~60日 で 調 査 を 行 う。	継	継) ・効果、薬害の確認
6. HAT-213 粒 DCBN:2.0% [保土谷アグロテック]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 全般 多年生/科 - 多年生/広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生初期 10g 15g 20g 対) ベンボ-粒剤 7.5g	処理後100 ~120日 で 調 査 を 行 う。	継	継) ・効果、薬害の確認
7. HW-T62 水和 DCBN:50% (H20~22 GG-205) [保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	(3) ねらい ハ-ミューダグラスの防除 対象 雑草 一年生/科 - 一年生/広葉 - 多年生/科 ハ-ミューダグラス 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 コウライシハ 生育期ハ-ミューダグラス生育期 1.0g <200~300mL> 1.5g <200~300mL> 2.0g <200~300mL>	ハ-ミューダ グラス生育 株に 対 す る 除 草 効 果 の 検 討 を 希 望。	実・継 従 来 ど お り	実) [秋冬作: (コウライシハ、ジシハ) 一年生雑草] ・芝生育期、 雑草発生前~発生初期(3葉期まで) ・0.5~1.0g<150~200mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・ハ-ミューダグラスに対する効果、コウライシハ に対する薬害の確認 ・薬害要因の解明(コウライシハ、ジシハ) ・連用試験での確認(ジシハ) ・実証試験での確認(コウライシハ、ジシハ) ・緑化木への影響の確認
8. KUH-114顆粒水和 フェノキシ酢酸:75.0% [オキナ化学工業 理研グループ]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任	本剤は雑 草発生後 が 劣 る た め 、 生 理 前 に 処 理 を 行 う 。 調 査 は 処 理 後 100日 程 度 で 行 う。	継	継) ・効果、薬害の確認 (コウライシハ、ジシハ、ハ-ミューダグラス)
	ジシハ	適用性 新規	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任	本剤は雑 草発生後 が 劣 る た め 、 生 理 前 に 処 理 を 行 う 。 調 査 は 処 理 後 		
	ハ-ミュー ダグラス	適用性 新規	新中国G研 J福岡	(2) ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/広葉 - 多年生/科 - 多年生/広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200~300mL> 0.2g <200~300mL> 0.3g <200~300mL> 対) 一任	本剤は雑 草発生後 が 劣 る た め 、 生 理 前 に 処 理 を 行 う 。 調 査 は 処 理 後 		

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
9. SB-201 乳 メソグリン:25% [エス・ディー・エス・バイオテック]	コウライシバ	倍量薬害 新規	J埼玉 かごしま空港CC (2)	ねらい 対象 雑草	倍量薬害	処理後経過 を見ながら 60日調 査を行う。 また、春期 コウライシバ 萌芽状態の 確認を希望。	実・継 実) [秋冬作: (コウライシバ、 メソグリン) 単用処理 ・ 芝生初期 雑草発生前 ・ 0.3~0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 回復処理(2回) ・ 芝生初期 雑草発生前 ・ 0.2mL<200-300mL>/m ² (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・ 土壌処理 [秋冬作: (ベントグリス) ス/メソグリン] 単用処理 ・ 芝生初期 雑草発生前~発生初期 ・ 0.3~0.4mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 回復処理(2回) ・ 芝生初期 雑草発生前~発生初期 ・ 0.2mL<200-300mL>/m ² (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・ 土壌処理	従来どおり
					設計 薬量 <水量> /m ²			
10. SB-208顆粒水和 アミカルバザン:70% [エス・ディー・エス・バイオテック]	コウライシバ	適用性 継続	植調研 J埼玉 かごしま空港CC (3)	ねらい 対象 雑草	雑草発生初期	処理後経過 を見ながら 60日調 査を行う。	実・継 実) [秋冬作: (コウライシバ、 メソグリン) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生初期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.05g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 一時的に葉身に黄化、退色などの薬害 を生じる場合がある	従来どおり
					設計 薬量 <水量> /m ²			
10. SB-208顆粒水和 アミカルバザン:70% [エス・ディー・エス・バイオテック]	コウライシバ	適用性 継続	植調研 J埼玉 かごしま空港CC (3)	ねらい 対象 雑草	雑草発生初期	処理後経過 を見ながら 60日調 査を行う。	実・継 実) [秋冬作: (コウライシバ、 メソグリン) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生初期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.05g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 一時的に葉身に黄化、退色などの薬害 を生じる場合がある	従来どおり
					設計 薬量 <水量> /m ²			
10. SB-208顆粒水和 アミカルバザン:70% [エス・ディー・エス・バイオテック]	コウライシバ	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草	雑草発生初期	処理後経過 を見ながら 60日調 査を行う。	実・継 実) [秋冬作: (コウライシバ、 メソグリン) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生初期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.05g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 一時的に葉身に黄化、退色などの薬害 を生じる場合がある	従来どおり
					設計 薬量 <水量> /m ²			
10. SB-208顆粒水和 アミカルバザン:70% [エス・ディー・エス・バイオテック]	コウライシバ	適用性 継続	J埼玉 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草	雑草発生初期	処理後経過 を見ながら 60日調 査を行う。	実・継 実) [秋冬作: (コウライシバ、 メソグリン) 一年生広葉雑 草、多年生広葉雑草] ・ 芝生初期、雑草発生初期 ・ 0.03~0.05g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 一時的に葉身に黄化、退色などの薬害 を生じる場合がある	従来どおり
					設計 薬量 <水量> /m ²			

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
11. SB-217顆粒水和 剤アジフルン:30% アミカルバゾン:10% [エステー・イー・エス・ビー・イテ ック]	コウライシ バ	適用性 継続	△グランドイ那須GC 東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 雑草発生前 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コンクリート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>	処理120～ 150日前後 で調査を 行う。	実・継 実)	[秋冬作; (コウライシバ、シバ) 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前～発生前初期 ・0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 注) ・一時的に葉身に黄化、退色などの葉害 を生じる場合がある 継) ・連用試験での確認(コウライシバ、シバ) ・実証試験での確認(コウライシバ、シバ) ・緑化木への影響の確認
	コウライシ バ	適用性 継続	△グランドイ那須GC 東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 雑草発生前初期 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生前初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) フェアブル 芝生育期 雑草発生前初期 0.3g <200mL>	処理90日 前後で調 査を行う。		
	シバ	適用性 継続	△グランドイ那須GC 東日本G研 植調研 J埼玉 関西G研 J福岡 (6)	ねらい 雑草発生前 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) コンクリート 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL>	処理120～ 150日前後 で調査を 行う。		
	シバ	適用性 継続	△グランドイ那須GC 東日本G研 植調研 J埼玉 関西G研 J福岡 (6)	ねらい 雑草発生前初期 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生前初期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL> 対) フェアブル 芝生育期 雑草発生前初期 0.3g <200mL>	処理90日 前後で調 査を行う。		
	コウライシ バ	信量薬害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 倍量薬害 対象雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL> 0.4g <400mL> 0.8g <800mL>	処理後経 過を見な がら120～ 150日前後 で調査を 行う。また、春期 コウライシバの 萌芽状態の 確認希望。		
	シバ	信量薬害 新規	植調研 J福岡 (2)	ねらい 倍量薬害 対象雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.2g <200mL> 0.4g <400mL> 0.8g <800mL>	処理後経 過を見な がら120～ 150日前後 で調査を 行う。また、春期 シバの萌芽 状態の確認 希望。		

A. 除草剤

(注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
12. SB-2092 粒 トリアゾアミ:0.3% アミダホバア:0.2% [エス・ティ・イー・エス・ハ・イ・テ ック]	コウライシ バ	適用性 継統	福島石川CC 東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 10g 15g 20g 対) シハキア II 芝生育期 雑草発生前 20g	処理 120～ 150日前後 で調査を 行う。	実・継	[秋冬作; (コウライシバ、ジシバ) 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前～発生初期 ・10～20g/㎡ ・土壌処理 継) ・連用試験での確認 (コウライシバ、ジシバ) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ジシバ) ・緑化木への影響の確認
	コウライシ バ	適用性 継統	福島石川CC 東日本G研 静岡G場協会 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 10g 15g 20g 対) シハキア II 芝生育期 雑草発生初期 20g	処理 90日 前後で調 査を行う。		
	ジシバ	適用性 継統	泉ハークタケGC 東日本G研 植調研 J埼玉 関西G研 J福岡 (6)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 10g 15g 20g 参) シハキア II 芝生育期 雑草発生前 20g	処理 120～ 150日前後 で調査を 行う。		
	ジシバ	適用性 継統	泉ハークタケGC 東日本G研 植調研 J埼玉 関西G研 J福岡 (6)	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 10g 15g 20g 参) シハキア II 芝生育期 雑草発生初期 20g	処理 90日 前後で調 査を行う。		
	コウライシ バ	倍量薬害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 倍量薬害 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 20g 40g 80g	処理 後経 過を見な がら120～ 150日前後 で調査を 行う。また、春期 コウライシバの態 の確認希 望。		
ジシバ	倍量薬害 新規	植調研 J福岡 (2)	ねらい 倍量薬害 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 - 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 20g 40g 80g	処理 後経 過を見な がら120～ 150日前後 で調査を 行う。また、春期 ジシバの萌 芽状態の 確認希望。			

A. 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
13. SG-109顆粒水和 7メチルピリン:50% [住化ケラー]	コケリン ハ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研 門司GC (5)	ねらい	雑草発生初期 は、12~1 月の雑草 発生初期 に行う。 調査は処 理後60~ 90日まで に行う。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期(生育休止期)、 雑草生育期 (但しスズノカタヘラは発生初期) ・ 0.08~0.12g/100~200mL/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理
				対象 雑草			
	ジハ ^ハ	適用性 継続	太平洋C美野里C J埼玉 関西G研 新中国G研 門司GC (5)	ねらい	雑草発生初期 は、12~1 月の雑草 発生初期 に行う。 調査は処 理後60~ 90日まで に行う。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草、多年生広葉雑草] ・ 芝生育期(生育休止期)とは、茎葉の 一部に緑色が残っているも、生育の停 滞している時期を指す
				対象 雑草			
14. SYJ-111 乳 S-メトラフロール:83.7% [シシ ^ハ エンタジ ^ハ ベン]	コケリン ハ	信量薬害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい	春の萌芽 への影響 を確認す る。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.25~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草			
	ジハ ^ハ	信量薬害 新規	太平洋C美野里C 新中国G研 (2)	ねらい	春の萌芽 への影響 を確認す る。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草			
15. SYJ-192 フロア ^ハ キ トリフロキシメスフロナトリウム 塩:10% [シシ ^ハ エンタジ ^ハ ベン]	コケリン ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい	処理後60 日程度で の調査を 希望。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.25~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草			
	ジハ ^ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	処理後60 日程度で の調査を 希望。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草			
15. SYJ-192 フロア ^ハ キ トリフロキシメスフロナトリウム 塩:10% [シシ ^ハ エンタジ ^ハ ベン]	ジハ ^ハ	適用性 新規	泉 ^ハ ・タケ ^ハ GC 福島石川CC 東日本G研 植調研 J埼玉 門司GC (6)	ねらい	最終調査 は処理後 90日程度 で行う。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生初期 ・ 0.02~0.05mL/100~200mL/㎡ ・ 茎葉兼土壌処理
				対象 雑草			
	コケリン ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生前 は、12~1 月の雑草 発生初期 に行う。 調査は処 理後60~ 90日まで に行う。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.25~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理
				対象 雑草			
ジハ ^ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生前 は、12~1 月の雑草 発生初期 に行う。 調査は処 理後60~ 90日まで に行う。	実・維 実)	[秋冬作: (コケリン ^ハ 、ジハ ^ハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.25~0.4mL/200~300mL/㎡ ・ 土壌処理	
			対象 雑草				一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 -